別紙４

（様式１）

**「スマート生産方式SOP作成研究」**

**研究課題提案書**

（※赤字は記載例です。）

**１．研究課題の概要**

**（１）該当する研究テーマ**

　□　水田作１：機械除草やこれに必要となる精密な移植・水管理技術等の導入による有機水稲生産体系の確立

□　水田作２：中山間地域におけるスマート農業技術を活用した超省力的・低コスト生産体系の確立

　□　畑作：高低差センシングを活用した排水改良等による高位安定生産体系の確立

　□　露地野菜・花き作：自動収穫ロボット等の導入による精密栽培管理体系の確立

　□　施設野菜・花き作：環境・出荷調製のロボット制御等の導入による効率的生産・出荷体系の確立

　□　果樹・茶作：自動化技術の導入による効率的生産・出荷体系の確立

　□　畜産・酪農：畜産施設の環境制御や個体モニタリング等の導入よるスマート畜産経営の確立

（注）いずれか一つの□に☑を付してください。

**（２）提案する研究課題名**

|  |
| --- |
| ○○（品目）における〇〇等（広く実装される前のスマート農業技術）の導入による○○（スマート農業技術の導入により目指す効果　例）労働生産性の向上等）（①対象とする品目、②導入するスマート農業技術（コアとなる技術）、③技術導入により目指す効果の３つの要素が必ず含まれる課題名としてください。） |

**（３）コンソーシアムの名称**

|  |
| --- |
| ○○スマート農業技術研究コンソーシアム（予定） |

（注）応募時点で、コンソーシアムを設立していない場合は、「（予定）」を付記してください。

**（４）提案する研究課題の概要 *（400 文字程度）***

|  |
| --- |
|  |

（注１）研究を行う背景（生産現場における課題）、導入するスマート農業技術とその利用目的、研究において検証する内容等について記載してください。

（注２）検証する内容の記載に当たっては、①スマート農業技術の導入効果を着実に発揮させる栽培体系等に係る取組内容（「新たな生産方式の導入」に係る記載部分に下線を引いてください。）、②サービス事業者等を介した技術の運用方法に係る取組内容の双方を含めてください。

**（５）コンソーシアムの体制**

**① 研究代表者**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| (ふりがな)氏 名 |  | 役職 |  |
| 所属機関・部署名 |  |

（注）研究代表者は、研究課題の企画立案、データ収集、進捗・成果管理を総括する研究課題の責任者です。**農研機構からの連絡を日常的に受けることが可能**で、その**連絡事項をコンソーシアム構成員に速やかに伝達可能な者**としてください。必ずしも代表機関の長である必要はありません。

　**②　コンソーシアムの構成機関**

| 区分（注１） | 機関名（支所等まで記載） | 主な役割 |
| --- | --- | --- |
| ①代表機関 |  |  |
| ②公的試験研究機関又は大学 |  |  |
| ③技術開発メーカー等（注２） |  | （主な役割に加え、開発供給実施計画の認定日又は開発供給実施計画の認定に向け事前相談を開始した日を記載してください。）・開発供給実施計画の認定日（開発供給実施計画の認定に向け事前相談を開始した日）：〇月〇日・ |
| ④サービス事業者等 |  |  |
| ⑤生産者又は生産者の組織する団体 |  | （主な役割に加え、下記の項目についても記載してください。なお、複数の生産者がいる場合は、生産者ごとに記載してください。）・研究を行う品目：〇〇・上記品目の経営面積：〇〇ha・経営面積のうちスマート農業技術を導入する面積：〇〇ha・経営面積のうち慣行区として設定する面積：〇〇ha |
| ⑥研究管理運営機関（任意、注３） |  |  |

※　**区分①～⑤に該当する者は、必須構成員**となります。必須構成員以外の者を構成員とする場合には、適宜、行を追加してください。

（注１）同一の者が複数の区分を担うことも可能です。

（注２）農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用の促進に関する法律（令和６年法律第63号。以下「スマート農業技術活用促進法」という。）第13条第４項に基づき、開発供給実施計画の認定を受けている者又は認定を受けることが確実な者を記載してください。

（注３）コンソーシアム内に、代表機関以外の他の者へ資金を配分するための経理事務体制等が十分に整っている機関が存在しない特段の事情がある場合、代表機関に代わって、経理執行業務を担う機関（研究管理運営機関）をコンソーシアム内に設けて、そこが資金配分等に係る事務を行うことができます。また、そうした研究管理運営機関の経理執行業務に必要な経費についても委託費の対象となります。

**２．研究課題の目標（審査項目①「研究目標の妥当性」関係）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 現状値（注１） | 目標値（研究終了時）（注２） | 目標値設定の考え方（注３） |
| ①　生産工程全体に係る単位面積当たり労働時間の削減目標 | 〇〇時間/10a | 〇〇時間/10a |  |
| ②　収量の目標　又は単位面積当たり売上高の目標 | 〇〇kg/10a又は〇〇千円/10a | 〇〇kg/10a又は〇〇千円/10a |  |

（注１） コンソーシアム構成員のデータが把握できない場合は、直近の地域の平均的な値を記載してください。ただし、研究終了時の目標達成度は、慣行区と検証区のデータにより行って下さい。

（注２）「②収量の目標又は売上高の目標」については、現状と同等以上の目標値を記載してください。

（注３）「目標値設定の考え方」は、目標値の根拠について、計算方法等を含め具体的に記載してください。必要に応じ、参考資料を添付してください。

**３．研究内容（審査項目②「技術内容及び取組内容の適格性」関係）**

**（１）「スマート農業技術の導入効果を着実に発揮させる栽培体系等（飼養管理体系を含む。以下同じ。）」に関する検証項目・内容**

|  |  |
| --- | --- |
| 検証項目 | 内容 |
| 定植方法 | ・機械化収穫を見据えた植え付けとするため、初期成育が安定する育苗条件とともに、収穫機による収穫ロスが低減される畝間・株間を検証する。（畝間（慣行区）：〇cm、（検証区）：〇cm、〇cm） |
| 〇〇 | ・・・ |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

（注１）スマート農業技術の導入効果を最大化するため、主な栽培・管理工程ごとに検証する項目・内容について、漏れなく具体的に記載してください。

（注２）新たな生産方式の導入等に伴い追加で発生する工程・作業については、下線を付してください。

（注３）新たな技術導入に伴う労働時間の削減等の効果のみならず、追加で発生する作業や費用についても、検証項目に含め漏れなく記載してください。

**（２）「サービス事業者等を介した技術の運用方法」に関する検証項目・内容**

|  |  |
| --- | --- |
| 検証項目 | 内容 |
| 〇〇機械の利用調整方法 | ・機械の稼働面積を最大化させるため、生育予測モデルを活用し、作付面積・品種・作付時期等を把握。・収穫予定時期を基に、地域内における機械の利用計画を作成し、収穫作業機に生産者〇名で、機械を利用。・機械の利用に当たって事前に整理すべき事項、運搬に係る調整方法、サービス提供に必要となる料金の目安等を整理。 |
| 〇〇 | ・・・ |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

（注）サービス事業者等のサービス供給方法や役割を中心に、技術の運用方法等に関する検証項目・内容について、漏れなく具体的に記載してください。

**（３）研究に当たり活用するスマート農業技術・機械の概要**（注１）　作目：○○

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 作業内容 | 技術・機械名（メーカー・型式）（注２） | 技術又は機械を提供する機関 | 台数 | 規模（注３） | 検証内容（新たな生産方式の内容や着実な導入効果の発揮に必要な取組内容）（注４） | 個別技術の目標（注５） | 導入コスト（税込/想定）（注６） | 既存・新規の別（注７） | コア技術（注８） |
| 定植 | 〇〇定植機（○○社製A-123） | （株）○○農機 | 1 | ○ha | 　ロボットによる収穫を見据え、収穫ロスを低減させる畝間・株間を設定。 | 慣行に比べ、作業能率を1.5倍に向上させることで、10a当たりの労働時間を〇時間以上削減。 | ○○○円 | 既存 | ― |
| 栽培管理 | 農薬散布ドローン | （株）○○ | 1 | ○ha |  |  | ○○○円 | 新規 | ― |
| 収穫 | ○○収穫ロボット | （株）○○工業 | 1 | ○ha |  |  | ○○〇円（想定） | 新規 | 〇 |
| ・・・ | ・・・・・ | ・・・・・ | 1 | ○ha | ・・・・・・・・・ | ・・・・・・・・ |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**〇　広く実装される前の技術（コア技術）の現状（市販化のスケジュール等）**

|  |
| --- |
| 〇年に当該技術を開発。現在、市販化に向け、性能の最終確認段階。〇年〇月に市販化予定。 |

（注１）生育ステージ等の順に、本事業において活用するスマート農業技術等（経営や栽培等のデータを管理するソフトウェアを含みます。）を全て記載してください。

（注２）「機械・技術名」は、複数ある場合は全て記載し、市販化されている場合は、メーカー名及び型式を記載してください。

（注３）「規模」は、生産段階の技術では、検証対象となるすべての生産者の合計面積（ha）を、その他の技術では検証対象となる規模が分かる単位で記載してください。

（注４）「検証内容」は、機械又は技術を用いてどのような検証を行うのかを具体的に記載してください。

（注５）「個別技術の目標」は、検証する機械又は技術により目指す目標を具体的に記載してください。

（注６）「導入コスト（想定）」は、導入する機械・技術が既に販売されている場合は販売価格、今後販売される場合は想定価格を記載してください。

（注７）「既存・新規の別」は、今回の研究課題において、新規に機械等を導入する場合は「新規」、既に保有する機械等を用いる場合は「既存」と記載してください。

（注８）「コア技術」は、市販化前段階の技術又は広く実装される前の技術に該当する場合、「〇」を付してください。

**４．研究スケジュール（審査項目③「研究スケジュールの妥当性」関係）**

**令和７年度**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 検証項目等 | 実施機関 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| ０．推進会議 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| １　スマート農業技術の導入効果を着実に発揮させる栽培体系等　（作目：○○）【検証区面積 ○ha】【慣行区面積 ○ha】 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （１） | （株）○○ |  |  | 〇〇 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２） | ○○農産 |  |  |  |  | 〇〇 |  |  |  |  |  |  |  |
| （３） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （４） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （５） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２． サービス事業者等を介した技術の運用方法 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （１） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （３） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （４） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （５） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ３．手順書の作成 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （１） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （３） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※　必要に応じ、行を追加してください。

**令和８年度**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 検証項目等 | 実施機関 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| ０．推進会議 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| １　スマート農業技術の導入効果を着実に発揮させる栽培体系等　（作目：○○）【検証区面積 ○ha】【慣行区面積 ○ha】 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （１） | （株）○○ |  |  | 〇〇 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２） | ○○農産 |  |  |  |  | 〇〇 |  |  |  |  |  |  |  |
| （３） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （４） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （５） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２． サービス事業者等を介した技術の運用方法 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （１） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （３） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （４） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （５） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ３．手順書の作成 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （１） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （３） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※　必要に応じ、行を追加してください。

**令和９年度**

**（※　研究対象作物の作期等を踏まえて、２年間に手順書をとりまとめることが困難な場合のみ、夏作物は対象外）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 検証項目等 | 実施機関 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| ０．推進会議 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| １　スマート農業技術の導入効果を着実に発揮させる栽培体系等　（作目：○○）【検証区面積 ○ha】【慣行区面積 ○ha】 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （１） | （株）○○ |  |  | 〇〇 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２） | ○○農産 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （３） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （４） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （５） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２． サービス事業者等を介した技術の運用方法 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （１） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （３） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （４） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （５） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ３．手順書の作成 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （１） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （３） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※　必要に応じ、行を追加してください。

**５．研究費総額（審査項目④「研究費の妥当性」関係）**

**（１）年度別・構成員別研究費の内訳**

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 機関 | 令和７年度 | 令和８年度 | 合計 | 備 考 |
| （代表機関）○○ |  |  |  |  |
| （公的試験研究期間・大学）○○ |  |  |  |  |
| （技術開発メーカー等）○○ |  |  |  |  |
| （サービス事業者等）○○ |  |  |  |  |
| （生産者・生産者の組織する団体）〇〇 |  |  |  |  |
| （研究管理運営機関）○○ |  |  |  |  |
| 合 計 |  |  |  |  |

（注１）行が不足する場合は、適宜、追加してください。

（注２）研究対象作物の作期等を踏まえて、一部、令和９年度に取組を行うスケジュールになっている場合であっても、令和９年度に必要となる研究費は、令和８年度にまとめて計上し、令和９年度分の研究費は備考欄に記載してください。以下同じ。

**（２）年度別・費目別研究費の内訳**

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 経費の区分 （注１、２） | 令和７年度 | 令和８年度 | 合 計 | 備 考 |
| 直接経費 |  |  |  | （注３） |
|  | 人件費 |  |  |  | 研究代表者エフォート○％ |
| 謝金 |  |  |  | 外部有識者謝金 |
| 旅費 |  |  |  | 東京～千葉（○回）（注４） |
| 機械・備品費 |  | － |  | （注５） |
| 試験研究費 |  |  |  |  |
|  | 消耗品費 |  |  |  | 部品等 |
| 印刷製本費 |  |  |  |  |
| 借料及び損料 |  |  |  | リース、レンタル、バス借上げ等 |
| 光熱水費 |  |  |  |  |
| 燃料費 |  |  |  |  |
| 会議費 |  |  |  | 推進会議等の開催費、会場借料（注６） |
| 賃金 |  |  |  |  |
| 雑役務費 |  |  |  | システム改良・保守など |
| 一般管理費 |  |  |  | （注７） |
| 消費税等相当額 |  |  |  | （注８） |
| 合計 |  |  | （注９） |  |

（注１）経費の内訳は、委託業務研究実施要領に記載の「委託経費の対象となる経費」に従って記載してください。

（注２）各経費は、消費税（10％）込みで記載してください。

（注３）営農に要する費用は計上出来ませんので、ご注意下さい。また、施設園芸ハウス、畜舎、選果場等の施設整備に係る費用、農業水利施設、農道、圃場等のインフラ本体の整備に係る費用も計上できません。

（注４）本研究の実施に必要な手続に関する説明会、研究計画の検討や評価を行うための会議、成果をPRするためのイベント等、年３回程度東京都内で開催することを計画しています。研究代表者等はこれら会議等に出席していただきますので、必要な旅費等を計上してください。

（注５）機械・備品費は、原則、令和７年度に計上してください。また、計上していない機械・備品の購入は、原則、認められません。

（注６）代表機関は、適宜、推進会議を開催していただきますので、必要に応じて会議費を計上してください。

（注７）一般管理費は、試験研究費の15％以内とします。一般管理費の使途は、本事業に関連したものに限定とします。

（注８）消費税等相当額は、消費税課税事業者のみ消費税相当額を計上し、直接経費のうち非課税取引・不課税取引・免税取引に係る10％に相当する額を計上してください。具体的には、「人件費及び謝金」の10％に相当する額を計上してください（人件費のうち派遣業者からの派遣研究員に係る経費は課税対象経費のため対象外）。また、「人件費及び謝金」以外に非課税・不課税・免税取引を予定する場合は、把握できる範囲で計上してください。なお、地方公共団体・免税事業者の非課税団体等については計上できません。

（注９）研究委託経費の上限は、令和７年度総額１億円、令和８年度総額５千万円（予定）です。

**（３） 経費の区分・年度別経費の内訳（構成機関別）**

**構成機関名**

（注）機関別に、以下の①～⑬を作成してください。

**①　各年別事業費の内訳**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 経費の区分 | 令和７年度 | 令和８年度 | 合　計 | 備　考 |
| 直接経費 |  |  |  |  |
|  | 人件費 |  |  |  | ②に概要を記載 |
| 謝金 |  |  |  | ③に概要を記載 |
| 旅費 |  |  |  | ④に概要を記載 |
| 機械・備品費 |  | － |  | ⑤に機械・備品の内訳を記載 |
| 試験研究費 |  |  |  |  |
|  | 消耗品費 |  |  |  | ⑥に概要を記載 |
| 印刷製本費 |  |  |  | ⑦に概要を記載 |
| 借料及び損料 |  |  |  | ⑧に概要を記載 |
| 光熱水費 |  |  |  | ⑨に概要を記載 |
| 燃料費 |  |  |  | ⑩に概要を記載 |
| 会議費 |  |  |  | ⑪に概要を記載 |
| 賃金 |  |  |  | ⑫に概要を記載 |
| 雑役務費 |  |  |  | ⑬に内訳を記載 |
| 一般管理費 |  |  |  |   |
| 消費税等相当額 |  |  |  |   |
| 合計 |  |  |  |  |

（注）（２）経費の区分・年度別経費の内訳に準拠して機関ごとに記載。

**② 人件費の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

※ 単価は、時間単価又は日単価が分かるよう記載ください。

※ 人件費は、研究員等の年間の全勤務時間のうち本事業が占める割合を、給与規程や賃金台帳に基づき算出された人件費等の単価に乗じた額としてください。なお、各コンソーシアム構成員において、実勢に応じた単価を設定している場合には、単価の設定基準を明確にしていただき、農研機構で、構成要素等の精査を行います。その結果、人件費以外の経費が含まれる場合には減額を行います。

※ 本研究に必要な最大能力を大学教授並みと考え、単価の上限を大学教授並（時間当たり８千円、日当たり６４千円）とします。

**③ 謝金の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**④ 旅費の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**⑤ 機械・備品費の内訳**

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 機械・備品の名称（メーカー・規格等） | 数量（単位） | 単価 | 合計 | 使用目的 |
| 自動運転トラクタ（(株)○○農機・A-123） | 1（台） | 9,700 | 9,700 | 耕起・整地、運行状況のデータ取得等 |
| ドローン（(株)○○・B-456） | 2（台） | 2,500 | 5,000 | 作物の生育状況のセンシング、農薬散布等 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 合 計 | － | \*\*,\*\*\* | \*\*,\*\*\* |  |

**機械・備品費の購入理由**

|  |
| --- |
| 機械導入に当たっては、経済性の観点からレンタルやリースなど最適な方法で対応することとしております。導入を予定している機械ごとに、レンタルやリースでの導入が困難な理由について記載ください。例：自動運転トラクタは、現地での検証を実施するうえで、機械の改良を行う必要があるため。　　ドローンは、○○〇・・・・。 |

（注１）各年別事業費総額内訳の「機械・備品費」の内訳を記載してください。併せて、機械・備品の部品代等の金額の根拠となる積算の詳細を記載してください。

（注２）本事業で使用するもので、原形のまま比較的長期の反復使用に耐え得るもののうち、取得価格が１０万円以上の物品とします。なお、ファイナンスリースの場合は、リース期間を耐用年数と同期間とし、研究期間を超えるリース期間については、自費での契約としてください。本来ならば、機械・備品のリース物品は借料・損料で計上しますが、ここでは機械・備品費の内訳としてリース物品等と分かるように記載してください。複数取得する場合は、購入数量（単位）が複数必要な理由も記載してください。

（注３）スマート農業技術と認められない従来の機械類（例：直進アシスト機能等の無い一般的なトラクタ、ロータリ等の以前から市販されているアタッチメント、自動環境制御機能等を有さない一般的な施設用冷暖房装置など）の購入に要する費用は計上できません。

（注４）市販化されているスマート農業機械の導入費は、コア技術等と併せて導入し、生産方式の転換や着実な効果の発現に必要な場合に計上できますが、レンタルやリースでの導入が可能な場合には、購入ではなく当該方法により導入してください。

（注５）トラクタ１式というような記載はせず、個別に計上してください。例えば、自動運転トラクタと、それに装着する可変施肥機であっても１式とはせず、個別計上してください。

（注６）機械・備品費は、原則、初年度に計上してください。また、計上していない機械・備品の購入は、原則、認められません。

（注７）汎用性の高い備品（パソコン、フリーザー、タブレット、スマートフォン、スマートウォッチ等）は、計上できません。ただし、導入するスマート農業技術の運用・制御のために特殊用途で専用的に使用され、システムの一部として不可分に組み込まれるパソコン等は対象とすることが可能です。

（注８）導入するスマート農業技術・機械は、検証に必要なデータを得るために必要最小限のセット数としてください。必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

（注９）機械・備品費の総額が１億円を超えるような場合は、普及可能性などを勘案し、原則として対象となりません。

（注10）農機データ（①位置情報、②作業時間）を取得するシステムを備えた国内外メーカーのトラクタ、コンバイン又は田植機を購入・リースする場合、当該データを当該農機メーカー以外のシステムでも利用できるよう、当該農機メーカーがAPIを自社のHPや農業データ連携基盤等で公開し、データを連携できる環境を整備していることを要件とします。

**⑥ 消耗品費の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**⑦ 印刷製本費の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**⑧ 借料及び損料の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**⑨ 光熱水費の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**⑩ 燃料費の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**⑪ 会議費の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**⑫ 賃金の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**⑬ 雑役務費の内訳**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**（４）参画機関の概要**

各機関の代表者名、住所等（実際に事業を実施する支所等ごとに作成）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 代表機関 | 機関名 |  |
| 所在地住所 |  |
| 研究代表者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  |  |  |
| e-mail |  | エフォート | （％） |
| 経理統括責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  |  |  |
| e-mail |  | エフォート |   |
| 財務状況 | 年度 | 令和　　年度 | 令和　　年度 | 令和　　年度 |
| 当期純利益（千円） |  |  |  |
| 資本金（千円） |  |  |  |
| 純資産（千円） |  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 構成員①　公的試験研究機関又は大学 | 組織名 |  |
| 所在地住所 |  |
| 研究実施責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  |  |  |
| e-mail |  | エフォート | （％） |
| 経理責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  |  |  |
| e-mail |  | エフォート |  |
| 財務状況 | 年度 | 令和　　年度 | 令和　　年度 | 令和　　年度 |
| 当期純利益（千円） |  |  |  |
| 資本金（千円） |  |  |  |
| 純資産（千円） |  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 構成員②　技術開発メーカー等 | 機関名 |  |
| 所在地住所 |  |
| 研究実施責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  |  |  |
| e-mail |  | エフォート | （％） |
| 経理責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  |  |  |
| e-mail |  | エフォート |  |
| 財務状況 | 年度 | 令和　　年度 | 令和　　年度 | 令和　　年度 |
| 当期純利益（千円） |  |  |  |
| 資本金（千円） |  |  |  |
| 純資産（千円） |  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 構成員③　サービス事業者等 | 機関名 |  |
| 所在地住所 |  |
| 研究実施責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  |  |  |
| e-mail |  | エフォート | （％） |
| 経理責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  |  |  |
| e-mail |  | エフォート |  |
| 財務状況 | 年度 | 令和　　年度 | 令和　　年度 | 令和　　年度 |
| 当期純利益（千円） |  |  |  |
| 資本金（千円） |  |  |  |
| 純資産（千円） |  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 構成員④　生産者又は生産者の組織する団体 | 機関名 |  |
| 所在地住所 |  |
| 研究実施責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  |  |  |
| e-mail |  | エフォート | （％） |
| 経理責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  |  |  |
| e-mail |  | エフォート |  |
| 財務状況 | 年度 | 令和　　年度 | 令和　　年度 | 令和　　年度 |
| 当期純利益（千円） |  |  |  |
| 資本金（千円） |  |  |  |
| 純資産（千円） |  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究管理運営機関 | 機関名 |  |
| 所在地住所 |  |
| 研究管理実施責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  | FAX |  |
| e-mail |  | エフォート | （％） |
| 経理責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  | FAX |  |
| e-mail |  | エフォート |  |
| 財務状況 | 年度 | 令和　　年度 | 令和　　年度 | 令和　　年度 |
| 当期純利益（千円） |  |  |  |
| 資本金（千円） |  |  |  |
| 純資産（千円） |  |  |  |

（注１）研究代表者と経理統括責任者、研究実施責任者と経理責任者、研究管理実施責任者と経理責任者は、それぞれ別の者である必要があります。

（注２）電話番号、FAX 番号、e-mail アドレスは半角文字で記載してください。

（注３）構成員ごとに様式を追加してください。

（注４）財務状況は、直近３年度の財務諸表から該当する金額を記入してください。地方公共団体、国立大学法人、独立行政法人、個人の農林漁業者、国立研究開発法人等に係る財務状況の記入は不要です。

（注５）事業費の配分を行わない場合には、経理責任者及び財務状況の記入は不要です。

（注６）研究管理運営機関の項目は、該当する場合のみ記載してください。必須構成員以外の者を構成員とする場合には、適宜、表を追加してください。

**６．情報発信の取組（審査項目⑤「情報発信」関係）**

|  |
| --- |
| （記載例）〇年〇月：・・・を対象に・・・を実施。  |

**７．他施策との連携等（加点項目関係）**

　□　食品等事業者と連携した取組の場合

　□　スマート農業技術活用促進法第７条第５項に基づき、生産方式革新実施計画の認定を受けている者又は認定を受けることが確実な者が研究コンソーシアムに参画する場合

　□　環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律（令和４年法律第37号）に基づき、計画認定を受けている者が研究コンソーシアムに参画する場合

　□　農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第19条第１項に基づく、農業上の利用が行われる農用地等の区域における農業経営基盤の強化を促進する計画のうち、「将来像が明確化された地域計画」の区域内において研究を行う場合

　□　フラッグシップ輸出産地として認定された地域において研究を行う場合

（注１）該当する□に☑を付してください。

（注２）☑を付した項目について、根拠となる資料（該当部分の抜粋で可）を必ず添付してください。根拠となる資料の添付がない場合、加点の対象となりませんので御注意ください。

**８．研究グループの実績等（公募要領16関係）**

**（１）現に実施又は応募している公的資金による研究開発**

|  |
| --- |
| （記載例）研究代表機関：◯◯◯・研究代表者名：○○○○○費（○○省）、「・・・に関する技術開発」（2012 ～ 2016、研究費：○,○○○千円）・・・・・・・・・・・・・・・・（研究成果・内容、本研究計画との違い）○○助成費（○○省）、「・・・に関する研究」（申請中）（2016 ～ 2019、研究費：○,○○○千円）・・・・・・・・・・・・・・・・。（研究内容、成果、本研究計画との違い）・研究員名：○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。共同研究機関：◯◯◯・研究実施責任者名：○○○　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。・研究員名：○○○　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。  |

（注）現に実施又は応募している公的資金で今回提案する研究計画と関連する研究開発がある場合には、今回応募する研究代表者のほか、代表機関及び構成員ごとに、制度名、研究計画名、実施期間及び予算額、その研究内容・成果を簡潔に記載するとともに、本委託事業の研究計画と明確に区別できることを記載してください。

**（２）これまで受けた研究費とその成果**

|  |
| --- |
| （記載例）（１）研究機関名：◯◯◯　　研究者名：○○○○○費（○○省）、「・・・に関する技術開発」（2012 ～ 2016、研究費：○,○○○千円）・・・・・・・・・・・・・・・・（研究成果・内容）（２）研究機関名：◯◯◯　　研究者名：○○○○○費（○○省）、「・・・に関する技術開発」（2012 ～ 2016、研究費：○,○○○千円）・・・・・・・・・・・・・・・・（研究成果・内容） |

（注）今回応募する研究代表者のほか、代表機関及び構成員がこれまでに受けた公的資金による研究開発のうち、近年の主要なものを５件以内で記載してください。

**９．その他**

**（１）研究コンソーシアムの設立見込み（設立方式及び設立可能時期）**

研究コンソーシアムの設立方式や設立可能時期について記載してください。

　　・設立方式：

　　・設立可能時期：

　　（注）**予算執行には、コンソーシアムが設立されている必要**がありますので、可能な限り課題採択までの設立をお願いします。

**（２）契約書に関する合意**

　国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構から提示された委託契約書に記載された条件に基づいて契約することに異存がない場合は、以下の文章を記載してください。

**「○○ ○○（代表機関の契約権限のある者の氏名）」は、研究計画「○○○○○」の契約に際し、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構より提示された委託契約書に記載された条件に基づいて契約することに異存がないことを確認した上で、提案書を提出します。**

**（３）同意事項の確認**

提案する研究計画が採択された場合、以下の項目について異存がない場合は、項目についてチェックを入れてください。

□　研究計画の調整・実施に当たり、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（以下「農研機構」 という。）の指導・助言に対し、速やかに対応を行うこと。

□ 研究を通じて得られたデータについて、農研機構に提供すること。

□ 研究代表者は、本研究課題に十分専念できる者となっていること。

□ 研究に支障のない範囲で積極的に情報発信に努めること。

□（研究グループ内に、「開発供給実施計画の認定を受けることが確実な者」として参画している者がいる場合）別に配慮すべき事情なく初年度の委託契約終了日までに当該計画の認定を受けなかった場合又は初年度の委託契約終了日前であっても認定を受けないことが明らかとなった場合は、自ら研究を取り下げ、中止又は廃止し、試験研究委託契約書に基づき、契約の解除や支払額の返還等の措置を講ずること。

（様式２）

**参画機関の特許権等への取組状況**

*原則Ａ４用紙１枚以内・必須*

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |
| 代表機関名 |  | 研究代表者名 |  |
| 研究管理運営機関名 |  | 研究管理運営機関の実施責任者名 |  |

**（１）当該研究計画についての、成果の活用に係る方針、指針等の有無**

|  |
| --- |
|  |

**（２）各参画機関における職務発明規程の他、特許権等の管理指針、ポリシー、規程等の有無**

|  |
| --- |
|  |

**（３）コンソーシアム（又は研究グループ）における特許権等管理指針、ポリシー、規程等の有無**

|  |
| --- |
|  |

**（４）各参画機関における特許権等の担当部署や担当者、特許権等に関する問合せ窓口の配置（設置）の有無**

|  |
| --- |
|  |

（様式３）

**主な指針等に関する対応**

*Ａ４用紙１枚以内・必須*

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |
| 代表機関名 |  | 研究代表者名 |  |
| 研究管理運営機関名 |  | 研究管理運営機関の実施責任者名 |  |

研究内容に照らし、遵守しなければならない指針等（該当するものを「■」としてください。）

□ 農業機械の自動走行に関する安全性確保ガイドライン

https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/gizyutu/attach/pdf/240327-2.pdf

□ 農業分野におけるAI・データに関する契約ガイドライン（※）

　　https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tizai/brand/keiyaku.html

□ 農林水産省の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（※）

　　　https://www.affrc.maff.go.jp/docs/attach/pdf/misbehavior-14.pdf

* 農林水産省所管の研究資金に係る研究活動の不正行為への対応ガイドライン（※）

　　https://www.affrc.maff.go.jp/docs/pdf/h30\_fusei\_guideline\_20180720.pdf

□ 農林水産省の所管する研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針

　　https://www.affrc.maff.go.jp/doubutsujikken/doubutsujikken\_kihonshishin.htm

（※）研究内容に関わらず、全参加機関に遵守していただく必要があるもの。

（様式４）

**経理事務体制**

*Ａ４用紙２枚以内・必須*

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |
| 代表機関名 |  | 研究代表者名 |  |
| 研究管理運営機関名 |  | 研究管理運営機関の実施責任者名 |  |

**１．区分経理処理が行える会計の仕組みについて**

**（１）現在、区分経理処理が行える会計の仕組みが整備できていますか。**

※どちらかに○を付してください。

現在整備できている

現在整備できていない

**（２）その内容**

|  |
| --- |
|  |

**２．経理執行体制について**

**（１）現在の経理体制・職務内容**

|  |
| --- |
|  |

**（２）内部牽制について**

|  |
| --- |
|  |

（様式５）

**管理運営機関を活用する理由書**

***Ａ４用紙１枚以内・該当研究計画のみ***

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |
| 代表機関名 |  | 研究代表者名 |  |
| 代表機関経理統括責任者 |  |
| 研究管理運営機関名 |  | 研究管理運営機関の実施責任者名 |  |

**（理　由）**

**特段の事情があると判断される場合のみに、設置が認めらます。**

（様式６）

**情報管理実施体制について**

　情報管理実施体制

|  |
| --- |
| （記載例）【研究代表機関：○○○○○○】　　　　　　【構成員：○○○○○○】　情報管理統括責任者　　　　　　　　　　　　　情報管理責任者　　役職：○○○○　　　　　　　　　　　　　　　役職：○○○○　　氏名：○○○○　　　　　　　　　　　　　　　氏名：○○○○　情報管理責任者　　　　　　　　　　　　　【構成員：○○○○○○】　　役職：○○○○　　　　　　　　　　　　　　情報管理責任者　　氏名：○○○○　　　　　　　　　　　　　　　役職：○○○○　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名：○○○○　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【構成員：○○○○○○】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　情報管理責任者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　役職：○○○○　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名：○○○○ |

※　適切な体制が整うのであれば、情報管理統括責任者及び情報管理責任者は、研究代表者等と同一の者でも構いません。